

# 2018年度 関西学生ヨット春季選手権大会

大会期日 : 平成30年5月4日(祝・金曜日)～平成30年5月6日(日曜日)  
 開催地 : 新西宮ヨットハーバー (〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 4-16-1)  
 共同主催 : 関西学生ヨット連盟、兵庫県セーリング連盟  
 協力 : 新西宮ヨットハーバー株式会社

## レース公示

### 1. 規則

- 1.1 本大会には、『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。
- 1.2 『関西学生ヨット連盟規約』、『470学連申し合わせ事項』、『スナイブ級学連申し合わせ事項(ただし、スナイブ級学連申し合わせ事項I.2は適用しない)』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 1.3 付則Dは適用しない。
- 1.4 【DP】はプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。
- 1.5 規則40『個人用浮揚用具』を次のとおりとする。
  - (a) 【DP】次のように変更する。
 

『水上にいる間、衣類又は個人用装備を一時的に変えたり整えたりする場合を除き、競技者は個人用浮揚用具を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは、個人用浮揚用具ではない。この項は規則第4章前文を変更している。』
  - (b) 国際スナイブ級規則「制限規定」52.14に次を追加する。
 

『個人用浮揚用具には、「制限規定」52.14にかかわらず、浮力40N以上の個人用浮揚用具も含める。』
- 1.6 規則41(艇は、以下を除き、外部からの援助を受けてはならない)に以下を追加する。
 

『(e) 同じレースに参加している自チームの艇との口頭による情報交換』
- 1.7 規則60.1(b)(艇は救済要求することができる)に以下を追加する。
 

『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷又は傷害に基づいて救済要求を行うことはできない。』
- 1.8 次の規則を追加する。
 

『インシデントが同じチームの艇の間であり、接触がなかった場合、規則第2章の規則違反に対してのペナルティーはないものとする。』
- 1.9 国際470級クラス規則を次のように変更する。
  - (a) 『マストの上部に浮力体を付けることを認める。』
  - (b) 『メイン・セールとスピネーカのセール番号が同一でなくても良い。』
  - (c) 『正規以外のセール番号の使用も認める。ただし、複数の艇で同一のセール番号を用いてはならない。』
- 1.10 国際スナイブ級クラス規則を次のように変更する。
  - (a) 『マストの上部に浮力体を付けることを認める。』
  - (b) 『正規以外のセール番号の使用も認める。ただし、複数の艇で同一のセール番号を用いてはならない。』

### 2. 競技種目と競技方法

- 2.1 競技種目は、国際470級と国際スナイブ級とする。
- 2.2 競技方法
 

大学対抗のクラス毎の団体戦であり、「クラス別」、および「両クラスの得点合計による総合成績」により争うものとする。

  - (1) チーム、艇
    - (a) 1チームに必要な登録艇数は1艇以上とし、登録艇数の上限は定めない。
    - (b) 1大学で各クラス別に登録できるチーム数は最大2チームとする。  
ただし2チーム以上登録するためには2チームそれぞれの登録艇数がともに3艇以上の場合に限るものとする。
  - (2) チームの得点
    - (a) チームに登録した艇の得点合計を、登録した艇数で除した得点をもってチームの得点とする。
    - (b) 総合成績はクラス別の得点の単純合計とする。
    - (c) 得点の詳細は、「13. 得点」に記載する。

### 3. 【DP】参加資格及び申込み

- 3.1 参加資格
  - (1) 競技者は、次の項目を満たしていなければならない。
    - (a) 関西学生ヨット連盟規約第6条に定められた競技出場資格を満たしていること。  

関西学生ヨット連盟規約：第6条 連盟主催、主管及び公認ヨット競技の出場資格は、以下のとおりとする。  
 (1) 加盟大学に学籍のある者。ただし、通信教育部生は除く。(2) 出場可能年数は入学時より4年間とする。
    - (b) 2018年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
    - (c) スポーツ安全保険に加入していること。

- (d) 国際470級の競技者は日本470協会の2018年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
- (e) 国際スナイプ級の競技者は、2018年度日本スナイプ協会会員であること。
- (2) 3.1(1)(a)に該当しない者で、次の条件を満たしかつレース委員会が承認した場合、その競技者はオープン参加者として参加を認める。
- (a) 2018年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- (b) 最低3000万円又は同等の有効な第三者賠償責任保険に加入していること。
- (c) 該当するクラスの2018年度協会会員であること。
- (3) 艇の監督及びコーチは、2018年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- (4) 支援艇・応援艇の艇長は、2018年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- (5) 艇の乗員は1艇に付き2名とし、そのチームに登録(エントリー)した競技者での交替を行って良い。
- (a) 水上で乗員交替をする場合は、届出たチーム(所属する大学)の支援艇等を利用すること。
- (b) 主催団体では、乗員交替用の舟艇は準備しない。

### 3.2 参加申込

- (1) 4月25日(水)中に郵送するもの
- (a) 参加申込書-1(振込合計表) (b) 参加申込書-2(競技者名簿) (c) 以下の添付すべき書類
- 参加申込書に記載した競技者全員の『2018年度(公財)日本セーリング連盟会員証の写し』
  - スポーツ安全保険の『保険証書の写し』(参加申込書に記載した競技者の名前が記載されたもの)

郵送先：関西学生ヨット連盟 委員長：菅原 睦 〒651-

- (2) 4月25日(水)中にeメール添付で送付するもの

- (a) 参加申込書-1(振込合計表) (b) 参加申込書-2(競技者名簿)

メール送付先

| 関西学生<br>ヨット<br>連盟 | 役 職  | 氏 名   | PCアドレス                         | その他アドレス |
|-------------------|------|-------|--------------------------------|---------|
|                   | 委員長  | 菅原 睦  |                                |         |
|                   | 会計   | 古橋 潤樹 | kansai-yacht.kaikei@outlook.jp |         |
|                   | 事務局長 | 廣島 伸一 |                                | _____   |

- (3) 登録・受付時に提出するもの

- (d) 参加申込書-3(支援艇・応援艇 許可申請書)

登録・受付時に提出すると同時に、備え付けの「支援艇・応援艇登録リスト」に必要事項を記入すること。

また、当該艇において施設利用料が必要な場合は、大会期間中を含め、

- 陸揚げする艇は、日数×920円、
- 陸揚げしない艇は、日数×2700円 を提出時に支払うことで、登録・受付を完了する。

- 3.3 3.2(1)(2)の締切り日以降の申込みについては「レイトエントリー扱い」とし、平成30年4月27日(金)

17時までを限り、所定の参加料に対し50%のペナルティーフィーを支払うことで参加を認める。

上記期限を過ぎてからの参加申込み(書類の不足又は不備を含む)及び競技者の追加登録は認めない。

- 3.4 参加申込書-3(支援艇・応援艇 許可申請書)の内、「応援艇 許可申請書」については、大会期間中に陸上本部に提出することで申請を認めることがある。

## 4. 参加料

- 4.1 参加料等は次のとおりとする。

- (1) 参加料：1艇 7,000円 (識別番号代は不要)
- (2) 施設使用料：1艇 920円/日(税込) ※5月5日(祝・土)～5月6日(祝・日)は不要。

- 4.2 振込期日：4月26日(木)午前中

期日を過ぎてからの振込みについては「レイトエントリー扱い」とし、平成30年4月27日(金)17時までの振込みに限り、所定の参加料に対し50%のペナルティーフィーを支払うことを条件に参加を認める。

- 4.3 振込先：◎三井住友銀行 明石支店(普) 7045592

口座名義：関西学生ヨット連盟 会計 藤田 雄也 (カンサイガクセイヨットレンメイ カイケイ ブシノユキヤ)

## 5. 【DP】艇

- 5.1 艇は、原則として自己所有艇とするが、競技者が手配したチャーター艇も認める。

- 5.2 国際スナイプ級の艇は、2018年度SCIRA登録を完了していること。

## 6. 【DP】セール

- 6.1 艇のセールには、レース委員会が準備した識別番号を、【添付図A】に示す位置に、メイン・セールの上部(スターボード側)を上にして、重ならないように貼付けなければならない。

- 6.2 識別番号シール及び割当表は、登録(受付)時に配布する。

- 6.3 国際スナイプ級のジブの材質は最少160g/m<sup>2</sup>でなくてもよい。

## 7. 日程

- 7.1 登録・受付：5月4日(金・祝) 13:45～15:45  
5月5日(土・祝) 8:00～8:40 (オープン参加艇のみ)
- 7.2 艇長会議：5月4日(金・祝) 15:45～16:15
- 7.3 開会式：5月5日(土・祝) 9:20～9:40
- 7.4 予定されるレース日程とレース数は次のとおりとする。

| 日付      | 5月5日(土・祝) | 5月6日(日) | 合計    |
|---------|-----------|---------|-------|
| 国際470級  | 4 レース     | 3 レース   | 7 レース |
| 国際スナイプ級 | 4 レース     | 3 レース   | 7 レース |

- 7.5 最初の国際470級の予告信号の予定時刻は、5月5日(土・祝)は10:50、5月6日(日)は09:25とし、国際スナイプ級はこれに続く。
- 7.6 5月6日(日)は13:30より後に予告信号を発しない。
- 7.7 表彰式と閉会式は実施しない。

## 8. 【DP】計測

艇は、使用する艇の艇体に関する有効な計測証明書(470級はMEASUREMENT FORMも含む)を登録(受付)時に提示しなければならない。

## 9. 【DP】登録(受付)

艇は、大会本部で次の書類を提示し、登録を完了しなければならない。

- (1) 競技者の『(公財)日本セーリング連盟会員証(原本)』。
- (2) 監督・コーチの『(公財)日本セーリング連盟会員証の原本又はコピー』。
- (3) 支援艇、応援艇の艇長の『2018年度(公財)日本セーリング連盟会員証原本又は写し』。
- (4) 国際470級は、『Measurement Certificate including Measurement Form(MC/MF)(原本)』。ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え『計測登録証明書(原本)』も提示しなければならない。
- (5) 国際スナイプ級は、『計測証明書』及び競技者の『SCIRA登録会員証(原本)』又は日本スナイプ協会各水域フリートキャプテンが発行する『平成30年度SCIRA登録証明書(原本)』。

## 10. 帆走指示書

- 10.1 帆走指示書は、4月24日(火)中に関西学生ヨット連盟ホームページで公開する。
- 10.2 帆走指示書に対する質問は、4月28日(土)中に大会事務局に送付すること。  
◎ 大会事務局連絡先：平成30年度 関西学生ヨット連盟委員長：菅原 睦 (参加申込み先と同じ)
- 10.3 質問に対する回答は、原則として公式掲示板に掲示する。

## 11. 開催地

【添付図B】に、レース海面、大会ハーバーのおおよその場所を示す。

## 12. コース

- 12.1 トラペゾイド・コースを使用する。(第3・第4マークはゲートマーク。オフセットマークは設置しない。)
- 12.2 レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す見取り図、および帆走すべきコースを示す文字は、帆走指示書で指定される。

## 13. 得点

- 13.1 大会が成立するためには、1レースを完了することを必要とする。
- 13.2 クラス別のチーム順位は、実施された全てのレースにおける登録した艇の得点合計を、登録した艇数で除した得点をもってチームの得点とし、より得点の低いチームを上位とする。  
オープン参加者が乗艇した艇の「得点」および「艇数」は、計算から除外するものとし、除外した場合でも2艇以上の出場があるチームを表彰の対象とする。  
この項は規則A2を変更している。
- 13.3 総合得点は、両クラスに参加し表彰の対象となった大学の、クラス別の得点の単純合計とし、より得点の低い大学を上位とする。1大学から2チーム出場している大学においては、より上位のチームの得点を用いることとする。
- 13.4 参加艇数は、オープン参加艇を含むそのクラスに登録(受付)を済ませた艇数とする。
- 13.5 クラス別のチーム得点がタイとなった場合は、そのチームは同位とし、その次の順位を欠位とする。
- 13.6 総合の得点がタイとなった場合は、その大学は同位とし、その次の順位を欠位とする。

## 14. 安全規定

出艇申告、帰着申告方式を採用する。

## 15. 【DP】支援艇・応援艇

### 15.1 支援艇と応援艇の区別

#### (1) 支援艇：

監督、コーチ又はその指示する者が乗艇するエンジン付きボート及びクルーザーで、水上においてレース中ではない自校に所属する競技者又は艇に対し、以下の支援ができる。

- (a) 競技者へのアドバイス、応援。

- (b) 艇の交換装備の積み込み、装備交換の援助、破損した装備の引き取り。
- (c) 飲料水、食事の競技者への供与、ゴミの引き取り。

(2) 応援艇：

レースの観覧・応援専用のエンジン付きボート及びクルーザーで、競技者又は艇への援助は原則一切できないものとする。

- (a) 競技者へのトイレの供与は認める。その場合でもトイレ使用に関すること以外で競技者と接触することは禁ずる。
- (b) 他校との共用は認められる。

- 15.2 支援艇・応援艇を持ち込む場合は、「参加申込書-2」（支援艇・応援艇許可申請書）を受付時に提出しなければならない。支援艇・応援艇には、受付時に「支援艇・応援艇許可証」が発行され、レース委員会から識別旗が貸与される。
- 15.3 支援艇・応援艇は、水上において常に識別旗を掲揚するとともに、「支援艇・応援艇許可証」及び帆走指示書に記載されるレース委員会からの指示事項（水上での口頭指示を含む）を守らなければならない。
- 15.4 レース委員会艇に『数字旗8』が掲揚された場合、支援艇・応援艇は、レースをしているエリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。
- 15.5 レース委員会の指示に従わなかった支援艇・応援艇は、以後出艇が許可されないほか、当該支援艇・応援艇に関わる艇に対してプロテスト委員会の裁量によるペナルティーが課せられることがある。
- 15.6 応援艇のみ参加申込み期限後の追加登録を認めるが、できる限り事前に登録すること。
- 15.7 支援艇・応援艇はレース中であるにかかわらず、常に一般船舶の動きに目を配り、一般船舶の航行を妨げてはならない。
- 15.8 支援艇・応援艇は、ハーバー内においては、できる限り引き波を立てないようデッドスローで航行しなければならない。
- 15.9 支援艇・応援艇の乗員、および支援者は、水上にいる間、衣類又は個人用装備を一時的に変えたり整えたりする場合を除き、ライフジャケットを着用しなければならない。また故意、不注意を問わず、水中にゴミを捨ててはならない。

**16. 賞**

賞は次のように与える。

|         | 賞状      | 賞品  |
|---------|---------|-----|
| 国際470級  | 第1位～第6位 | 第1位 |
| 国際スナイブ級 | 第1位～第6位 | 第1位 |
| 総合      | 第1位～第3位 | 第1位 |

**17. 責任の否認**

競技者は、完全に自己の責任でこのレガッタに参加する。規則4「レースをすることの決定」参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物的損傷又は人身傷害若しくは死亡によるいかなる責任も負わない。

**18. 大会期間中の競技者の肖像権**

本大会期間中の艇、競技者に関連する写真・ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。

**19. 問い合わせ先**

本大会に関する問い合わせ先は、以下のとおりとする。

- ◎ 平成30年度 関西学生ヨット連盟 委員長：菅原 睦(参加申込み先と同じ)

**20. 追加情報**

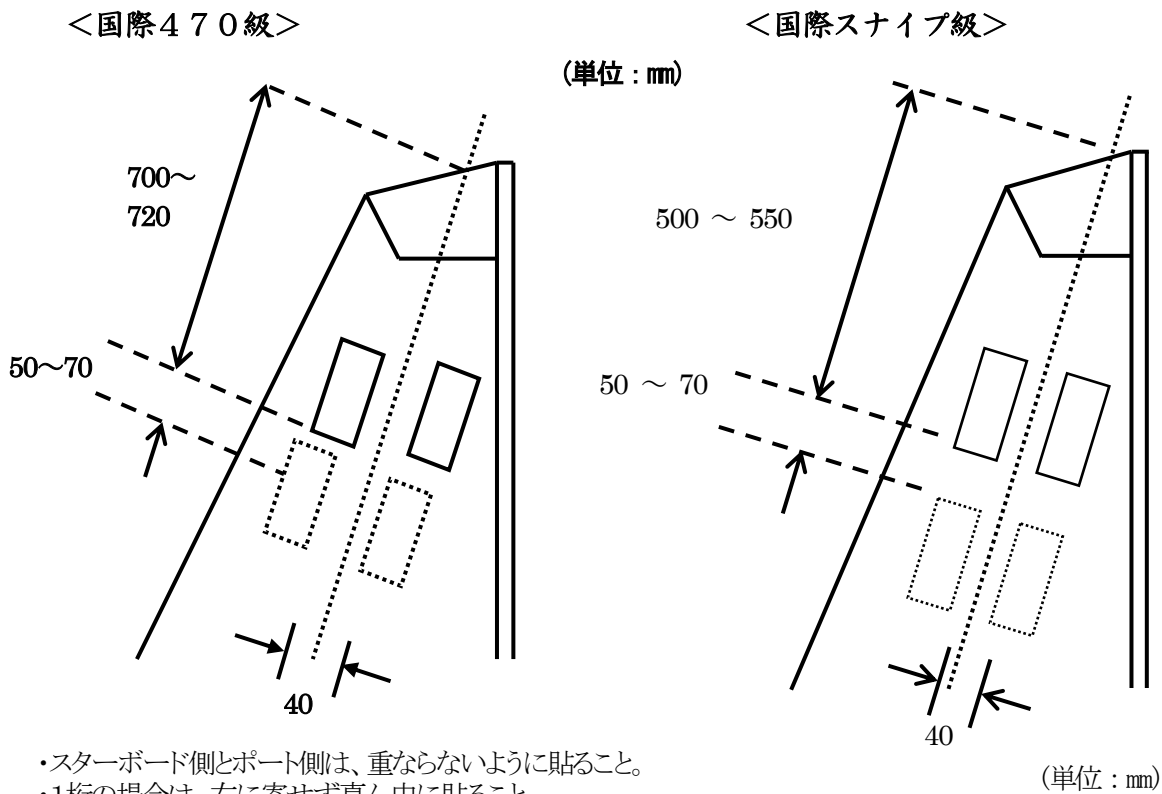
5月4日(金・祝)は13:40以降の出艇を禁止する。

**21. 参考情報**

5月5日(土・祝)は8:00よりレース委員会対象の運営勉強会を実施する。



【添付図A】 識別番号 貼付位置



- ・スターボード側とポート側は、重ならないように貼ること。
- ・1桁の場合は、右に寄せず真ん中に貼ること。
- ・識別番号の色: 国際470級は赤、国際スナイプ級は青色

(単位: mm)

【添付図B】 レースエリア、大会ハーバーのおおよその場所

